

【進学先】愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科 ドイツ語圏専攻
(国公立・学校推薦型選抜)

受験期を過ごして、私や私の周りが実感してこれ役に立ったな、受験前に知りたかったなって思ったことを5つ紹介したいと思います。

まず1つ目は自分が達成したい目標の1つ上を目指すことです。これをやるだけで実力は伸びやすくなると思います。少し方向性は違いますが、私は学校型推薦の出願でTOEICが必要になり、その勉強をし終えたあと、共通テストの英語を解くと驚くほど簡単に感じました。大は小を兼ねるとまでは言いませんが、ある程度形式が似ている難しい問題を解いておくことで、本番で余裕が生まれます。

次に2つ目は定期テストをおろそかにしないということです。『自分はどうせ一般受験だから内申はいらないし..』といって力を入れていない人は多いと思います。しかし、定期テストのメリットは内申だけではありません。それは受験勉強をしている時に『うわ！これ1年(2年)のときやったわ、懐かしい！』みたいなことが起きることです。懐かしくて嬉しくなるだけではありません。一度も見たことのない問題と一回でも見たことのある問題のモチベーションの出具合は天と地ほどの差があります。また内申が足りないと三年生になってから後悔する人はめちゃくちゃ多いです。そのためにもせめて3年の1学期までは定期テスト対策も頑張ることをおすすめします。

3つ目は志望大学のホームページは何回でも見るということです。必要な教科、出願条件、出願する日にち、オープンキャンパスの日程など本当に色々な情報が詰まっています。何回見ても新しい情報は見つかります。私自身、夏休みのオープンキャンパスで初めて国公立の推薦のことについて考え始め、出願条件であるTOEICや英検を期限があと2ヶ月のなかギリギリで受けることになりました。なんとか間に合いましたが、もう少し余裕を持って準備するべきだったなと後悔しています。

4つ目は夏休みほど自由に勉強できる期間はないということです。夏休みは長い分、勉強をやっている人とやってない人で本当に差がつきます。夏休みが過ぎると2学期は文化祭があります。文化祭は準備も本番もめちゃくちゃ楽しいので浮かれて勉強なんて出来ません。10月になると総合型、公募など推薦がどんどん始まっていきます。だからこそ本当に夏休みは逃せません。部活を最後までやり切って夏休みは勉強習慣を作って基礎を固めましょう。

5つ目『量より質』なんて言葉を信じないでください。『量より質』が通用するのは一握りだけで、それ以外は言い訳です。まずは勉強量を増やしましょう。自分に合った勉強法をやっていれば絶対に質はついてきます。

最後に個人的にオススメの参考書を紹介したいと思います。

国語:新ゴロゴ古文単語→イラストと語呂で暗記できるから覚えやすい。

英語:クラウンチャンクで英単語→意味が似ている単語が並んでいるのでまとめて覚えやすい!!最高の英単語帳です。これがなければ私の受験期は始まっていません。

単語帳はチャンク、ターゲット1900、シス単など何を選んでも良いけど表紙が取れるまでやろう!

英検で順パス単準一級→英語を得意教科にしたい人にオススメ。共テだけなら要らないかも。

やっておきたい英語長文700→そこらへんの長文飽きた人にオススメ。

公民:mini いけ先生(youtubeチャンネル)

公民で受験する人には本当にオススメ。隙間時間に見てください!

【進学先】名古屋工業大学 工学部 情報工学科（国公立・一般選抜）

この度、私は名古屋工業大学に合格することができました。そんな私ですが受験期を振り返り、反省すべき点を交えつつ体験記を綴っていきます。私が受験を意識し始めたのは2年の5月からでした。部活を早期に辞めて数学と英語の基礎を固めようと3年の3月まで日が経ちました。結果は人より多少の知識がある程度でとても10ヶ月の成果とは釣り合いませんでした。今思えば圧倒的に1日の勉強時間が足りませんし、ゲームさえしていました。周りより早めに勉強していたことで褒められ、定期テストの点が高いことで褒められ、そこで私の受験勉強は完結していました。新学期からは意識を改めようとしたのですが、塾を転々とし最終的には「一人で勉強をする」と、気付けば夏休みも終わっていました。

意識が本格的に変わり始めたのは9月からで、カフェや図書館に通い二次対策でZ会を使い最後までE判定ながら合格することができました。9月に何かきっかけがあったのかと聞かれれば、それはきっと後悔だと思っています。これは私の持論ですが、人間は自分の中の意思を「自分で」変えないと何もかも始まりません。他人の説法で簡単に行動を変えることができるのならば苦労はしないと私は思います。この不合格体験記のような合格体験記を見て今から受験に向けて本格的なスタートを切れる人は才能だと思います。

最後に、受験を終えた後に後悔しないような努力をしてください。

皆さんの合格を応援しています。

【使用した参考書や問題集】

● 共通テスト、各大学の過去問

言わずもがな過去問です

● 大学入学共通テスト～の面白いほど点が取れるシリーズ（参考書）

私は倫政を使っていたのですがデザインや配置がシンプルで見やすいです。自分は三年の十月から始めましたが結構ギリギリでした。

● チャート式数学 1A2B3

難関大学志望の人は青でいいです。典型問題をすべて網羅してください。

間に合わない人は重要事項完全習得でもおすすめです

● 理系数学の良問プラチカ 1A2B

チャートの次の問題集としておすすめです。問題数も難易度もすべてがちょうどいいと思いますが解説が乏しいところが数ヶ所あります。文系プラチカのほうが難しいです。3のほうは買わないでください、きっと後悔します。

● 良問の風、名門の森（物理）

物理で一番知られている問題集だと思います。物理は定番問題がほとんどなので良問だけを極めても十分戦えると思います。

● 漆原の物理 最強の99題

少ない問題数でかなりの力が付きますが解説がかなり難しい箇所があります。分からない問題だらけの場合は素直に本を閉じて基礎を固めなおしましょう

● 関正生の The Rules シリーズ

様々な形式の問題が載っており解説もかなり豊富です。

● 英語長文レベル別問題集 4

ちょうど共通テスト大問1～3ぐらいの難易度の文章で4だけを使っていました。

上記の問題集、参考書の中身を見ずに購入するのは得策ではないです。自分で見て考えて本当に必要かどうかを判断してください。

【進学先】愛知教育大学 学校教員養成課程 義務教育専攻・国語専修

(国公立・学校推薦型選抜)

受験において、情報の収集はとても大事だと考えています。

私は情報収集をし、愛知教育大学に受かるためのチャンスを増やすために、総合型・学校推薦型・一般選抜に出願しました。結果的には、学校推薦型に合格したため、一般は受けなかったのですが、もし学校推薦型で落ちていても可能性はまだ残っていました。

元々は学校推薦型と一般だけ受けようと考えていたのですが、私が総合型選抜を知り、受けようと思ったのは、夏にオープンキャンパスに行ったのがきっかけです。(志望校のオープンキャンパスには必ず参加することをおすすめします。) オープンキャンパスで受験相談会が行われており、愛知教育大学の入試課の人に受けてみたら？と言ってもらって、受けるようにしました。総合型選抜は不合格であったものの、この試験は受けておいてよかったと思いました。なぜなら学校推薦型にも面接や志望理由書、学びの履歴があるからです。私は夏休みのうちに総合型選抜のために進路指導部の先生とこれらについて添削と指導をしてもらっていました。そのため学校推薦型の出願時、共通テストが近づいている中、出願書類に時間と手間を取られずに勉強出来ました。しかし、たくさんの方式の受験を受けたことはメリットばかりではないと思っています。私は総合型選抜が終わったあとに手応えがとてもあって、これは受かった！と思ってずっと浮かれていました。10月に試験を受けて、11月に結果が出るまであまり勉強しない日が続きました。不合格が出た時は終わったと思いました。総合型を受けるにあたっての出願書類は勉強とは違って、自分の言葉で綴らないといけないことが多すぎて苦戦していて、勉強時間どうしてもその分取られてしまいました。もし共通テストまで共通テストや一般入試の勉強だけをしていたら、自分の勉強に切れ目が出来ず、浮かれることもなく、集中して勉強が出来たのではないかと考えています。私は、結果的に合格を掴んだので、総合型も受けておいてよかったとは思っていますが、もし全て不合格だったら、最初から共通テストと一般入試のことだけ考えていたらもっと勉強できたのにと後悔していたと思います。これは全て受験が終わってみないと分からないことかもしれませんが、もし私みたいに第1志望を多くの方式で受験してチャンス増やそうと考えているのならば、自分に合うか合わないかをしっかり考えて、どちらを選ぶにしても後悔しないようにして欲しいとつくづく願っています。また、私はずっと共通テスト模試はE判定でした。それでも合格を掴めました。本番で合格最低点以上を取れば合格です。最後まで頑張ってください。応援しています。

【進学先】南山大学 人文学部 人類文化学科 (私立・一般選抜)

まず、私が受験を通して感じたことをみなさんに伝えようと思います。それは、長い期間での学習がとても大切だということです。

受験勉強と聞くと、3年生だけに関係のある事のように感じられますが、私はそうではないと思います。たしかに、1・2年生の時点では直接受験に関わる場面はそこまでありませんが、だからと言って、定期テストや日々の学習を怠っていると、3年生になった時に、基礎的な勉強の知識が欠けていたり、評定が足りなかったりして、進路の選択肢が少なくなる場合があります。実際に私も、1年生の時からちゃんと勉強していれば良かった、と言っている人を何人も見かけました。

そうならないためにも、定期テストは真面目に取り組む、科目ごとの小テストもしっかり対策して取り組む。この2点を意識していれば、自ずと学習習慣も身に付くし、3年生になった時に、こんなの習ったっけ？と思う回数が少なくなるのではないかと思います。逆に1・2年生であまり学習ができていなかったという人も、それだけでダメだと決めつける必要はないと思います。高3の1年間でどう過ごすべきかをしっかりと考え、

具体的に目標を立てたり、自分には何が足りていないのか、模試などを使って分析したりするなどすることで、自分の実力をかなり伸ばす事ができると思います。最初から諦めるのではなくて、最後まで挑戦してみてください。

また、受験がよくわからないし、不安な人も多いとは思いますが、私は、案外なんとかなると思っています。無責任なことを言うようですが、それくらいの心持ちでいた方が、切り替えもしやすいですし、長期戦である受験には合っているように思います。是非自分に合った進路を見つけて、後悔のないよう、ゆっくりでもいいので進んでください。心から応援しています。

最後に、私が受験期に実際に使っていたアプリを紹介します。それは、『mikan』と言う英単語アプリです。1年生の時に英語の先生がこのアプリを紹介していたので、試しにインストールしてみたのですが、すきま時間に手軽に利用できるのととてもおすすめです。もし良ければ参考にしてみてください。

【進学先】南山大学 国際教養学部 国際教養学科（私立・一般選抜）

大学受験を通して、みなさんの為になるかどうかは分かりませんがまとめようと思います。

初めに志望校選びについてです。私は6月頃から受験勉強を始め、そのときは今より低いレベルの愛知大学や名城大学を志望していました。しかし、勉強するにつれて上の大学を目指せると思い、10月頃に志望校を南山大学に変更しました。

私の中で南山は高すぎて眼中にすらありませんでしたが、基礎を固め続けてきたことで通用することがわかりました。「自分はこのくらいのレベルだからこの大学にしよう」という理由で大学を決めずに自分の行きたいところを選ぶことが一番大切です。やり続ければ必ず行きたいところに行けます。なので諦めずにやり続けてください。

次に勉強についてです。偏差値が高い大学を受験するからといって応用から始める人がいますが、勉強は必ず基礎から始めてください。受験は基礎が一番重要です。基礎というのは英語で言う単語や文法のことですが、これを怠るとどこの大学入試にも通用しません。逆に基礎を固めれば高いレベルの大学にも合格できます。

そして、スマホを制限することも合格の秘訣です。普段自分がよく開くアプリは全てアンインストールしましょう。Instagram、TikTok、YouTube、ゲームなど容赦なく消してください。

全ての時間を勉強に費やして、毎日辛く死に物狂いでした。しかし、周りの人からのサポートが心の支えとなっていたので最後までやり切ることができました。

最後、受験会場で支えてくれたのは「これだけやったんだから大丈夫だ」という自信でした。

最後の最後まで諦めずにやることが重要です！

みなさんの受験が終わった時に笑っていただけることを祈っています。